

第2回民主主義のためのサミット・インド太平洋地域会合
林芳正外務大臣 ビデオメッセージ
(2023年3月30日(木))

皆様、

まず、朴外交部長官のリーダーシップの下、第2回民主主義のためのサミット・インド太平洋地域会合をホストする大韓民国政府に敬意を表します。

「民主主義」をテーマに冠する本日の会合で、腐敗防止を話し合うことは極めて重要です。腐敗は、民主主義の制度や価値を害し、法の支配及び経済・社会の発展に歪みを生じさせます。政府への信頼や、企業の評判と信用を損ねるだけでなく、組織犯罪やテロリズムの拡大を助長し、持続可能な開発そのものをリスクにさらします。

責任ある国際社会の一員として、日本も腐敗防止に向けた取組に貢献してきました。本年は、国連安保理非常任理事国及びG7 議長国として、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化に向けて取り組んでいます。1月、私は国連安保理で「国家間の法の支配」をテーマに公開討論を主催しました。討論では、腐敗を減らし、公平な競争の場を生み出すことの重要性も議論されました。

また、2021年、日本は第14回国連犯罪防止刑事司法会議をホストし、京都宣言をとりまとめました。この宣言では、腐敗の不処罰の根絶を含む法の支配の強化、技術支援と情報交換などについてのコミットメントを確認しました。

日本は、腐敗防止に取り組み、法の支配を実現する上でも、「対話によるルール作り」と、それを支える「人」に着目したアプローチを重視しています。

そのため、インド太平洋諸国を中心に、各国の実情に応じた支援を実施しています。東京にある国連アジア極東犯罪防止研修所(UNAFEI)では、犯罪防止・刑事司法の実務家向けに研修を実施し、国際的な人的ネットワークの構築を支援してきました。例えば、東南アジア諸国における法の支配と良い統治(グッドガバナンス)の確立に向けた取組を支援し、各国の相互理解・協力を促進するため、2007年から、グッドガバナンスをテーマとする東南アジア地域セミナーを毎年開催しています。

民主主義は、腐敗との闘いを含む日々の弛みない努力によって強化されます。そうした努力を続ける「人」を支えたい。日本は、これまで得意としてきた分野でのアプローチを更に推進し、腐敗のない、透明で公正な経済・社会の実現に貢献していきます。

御清聴ありがとうございました。